



## 檜葉町の魅力を発信し隊活動スタート!!!

「参加」から「参画」へ。20回を迎えた地域での活動は、地域の皆さんのおかげで、子どもだけでなく保護者の方の参加も増え、活動フィールドも増えてきました!!! 子どもたちの地域への関心も高まっているようで、「この前、家族でも海水浴に行ったんだ!!!」「夏休みにいところほとぎす山を案内したよ!!!」など、嬉しい声も聞かれています。そこで、先月からは**子どもたちが地域の活動に主体的に「参画」する機会として、「ふるさとの魅力発信し隊」がスタート**しました。まずはオファーのあった天神岬で温泉をみんなで心をこめて清掃!!! 続いて、ならは百年祭に屋台を出店し、こども神輿や檜葉音頭を披露。今月は天神岬スポーツ公園の冬の風物詩イルミネーションのデザインを担当します。子どもならではのアイデア、活気ある活動を必要とされている方、ぜひ協働センターにお問い合わせください!!!



みんなで力を合わせて、お客さんのために磨きました!!!



準備からお祭りに参画し、地域の皆さんと盛り上げました!!!



## 幼・小・中の連携を多様な形で展開!!!

「幼小連携」「小中連携」という言葉をお聞きになったことはあるでしょうか。小学校に入った新1年生が座学を中心とした教科教育に馴染めず、先生の話听不懂などの問題を起こしてしまう「小1ブロblem」や、中学校という異なる新しい環境や生活スタイルに馴染めず、授業についていけなくなる「中一ギャップ」を防ぐため、異校種間で連携する取組の事です。檜葉町は1園1校1校なので、他自治体と比べて、園や学校間での連携は自然とできています。そこで、協働センターでは、学びの主体である子どもたち自身が進学前から馴染めるように新しい活動をスタートしました。

例えば、小学校のプールや校庭、協働センターを活動場所とした園児の活動。放課後や長期休業中の園児と児童の交流、児童と生徒の協働活動など。これからも子どもたちのため、多様な関わりの機会を設定し、安心して、「早く進学したい!!!」と思えるような活動を展開していきたいと思います。



遊びや活動を通じた交流をどんどん進め、仲も深めています。

9月6日には、こども園のひまわり組の保護者の皆さんの要望を受けて、協働センター主催で、小学校の生活に関する座談会を実施しました!!! バスや放課後など、学校生活以外の質問も多く寄せられ、今後、放課後の体験会も実施することとなりました。

# コミュニティスクール講演会を開催!!!



教員でないからこそ「地域・保護者からの視点」で語る竹原先生

8月17日、文部科学省 中央教育審議会の部会委員である東京学芸大学理事の竹原和泉先生をお招きして、講演会を実施しました。非常に学びの多い講演会でしたが、特に冒頭の「地域と学校の連携にあたっては、そもそもどんな活動をするのかというWhatの視点になりがちだが、それよりもどのような仕組みですめるのかというHow、さらにはなぜ連携が必要なのかというWhyを常に重視しなければ、活動はブレて

しまう」という話が印象的でした。また、センターの活動や施設をご覧になり、「さすがは日本初のセンター。展開内容もダイナミックで、被災地に限らず、全国に発信すべき先駆的な活動。ぜひ、地域連携の手本として、一層、

地域に根付いてほしい」との評価をいただきました。なお、講演資料をお読みにになりたい方は、お気軽にお問い合わせください。



誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。

## 考えてみませんか? 「樫葉の子はどんな子に育ててほしい?」

学校運営協議会では、多くの町民の方に樫葉の子どもたちの育成を「自分事」として考えていただくためには、こども園や学校でどんな子を育てようとしているのか知ってもらうことが必要だと話し合いがまとまりました!!!  
そして、町の教育についてのリーフレットの作成も予定しています。次年度に全家庭に配布予定ですので、ぜひご覧ください。

### あおぞらこども園

目的を持って自分の好きなことに進んで取り組み、試したり、工夫したりできる

### 樫葉小学校

- ①自分で考え、判断できる
- ②自他のよさと違いを認め、尊重し、よりよい人間関係をつくる
- ③目標に向かい粘り強くやり通すことができる
- ④礼儀正しく、思いやりがある

### 樫葉中学校

- ①望ましい人間関係を築くことができる  
・自信と思いやりがある  
・互いに助け合い、高め合おうとする心がある
- ②謙虚な態度で、感謝の気持ちを忘れず、時と場に応じた言動や礼儀正しい振る舞いができる
- ③故郷に対する誇りを持ち、志や目標の実現に向け、たゆまぬ努力を重ねることができる

### 学びや生活における姿勢に関して

目標をしっかりともち、あきらめずにやり通す子ども

### 物事の思考や判断に関して

自分事として物事を捉え、主体的に関われる子ども

### 人間関係の形成に関して

自己肯定感が高く、人間関係を積極的に形成しようとする子ども

### 他者との関わりに関して

礼儀を重んじ、誰に対しても感謝の気持ちを大切にすることができる子ども

## 【地域学校協働センターからのお知らせ】

- 福島大学との協定を締結後、国立大学の専門性を活かした多様な活動が展開できるようになっています。今度はサイエンスカフェ!!! 専門性が高いため、堅苦しい雰囲気になりがちな科学について、カフェのような気軽な雰囲気の中で、少人数で楽しくやりとりしちゃうおうという、今はやりの活動です。いらっしゃるのは、大学の先生?と驚いてしまうピンクの似合う平先生。ぜひお気軽にお越しください!!!



日時：11月12日(土) 1時~2時30分 対象：すべての町民の方 申し込み：センターまでお気軽にご連絡ください  
(保護者の方には後日、園や学校を通じて案内が届きます)。

【お問合せ先】 樫葉町地域学校協働センター（樫葉小学校1階） 猿渡・嶋川・青木  
(直通) 070-7421-5156 (教育委員会) 0240-23-5515 kyoudou-n@town.naraha.lg.jp